

INTERVIEW

VANADIS を基軸に、お客様 企業の変革と価値創造を支援

1兆円企業の達成に向けた本年6月の機構改革で新たに組織化されたNTTデータのビジネスソリューション事業本部。新規顧客の獲得に向けてのフラグシップとして強力に展開中のIT統合ソリューション「VANADIS」のコンセプト、展開状況について、田邊仁一本部長に伺った。

求められるのは企業活動全体を見据えたトータルソリューション

本年6月の機構改革で新設されたビジネスソリューション事業本部は情報系インフラを中心にソリューションビジネスを展開されるとのことですが、情報系インフラについて、どのようなマーケットニーズがあると認識されていますか？

田邊 企業を支える根幹ともいえる情報インフラは、ここ十数年の間のオープンシステム化やIP化の流れの下で、複数のシステムが目的別に構築され、その結果、管理の複雑化、情報漏洩やセキュリティ面の脆弱性のほか、新しいテクノロジーへの柔軟な対応ができない、連動していないため機能の重複・手作業の重複がある、といった課題を引き起こしています。つまり、コスト部分最適ではあったものの、必ずしも全体最適とはいえないIT投資が行われてきたこととなります。実際、様々なビジネスの局面で、企業活動全体を見据えた全体最適ソリューションの提供を望まれるお客様がここに来て非常に増えて

きています。

このようなマーケットニーズに対し、どのようなソリューションを展開されるのでしょうか？

田邊 情報インフラには、IP電話、モバイルを使った情報共有、高度なセキュリティ環境、強固なNW基盤、ビジネスインテリジェンスなど、いくつかのキーワードがあります。これらのシステムは、各々利用条件に合わせた環境設定がなされ、個別に情報管理していかなければなりません。この管理が非効率性につながっ



㈱NTTデータ 執行役員
ビジネスソリューション事業本部長
田邊 仁一氏

ているわけですが、これを情報インフラ全体で一元的に行うことにより、トータルコストの削減をはじめとして、経営リソースの有効活用、スピーディな拡張、セキュリティ向上など、企業活動全体に対して様々なメリットを生み出すことができます。

そこで私どもは、「人・モノ・運用」の観点から企業の情報管理体系を整理し、統一の設計思想・設計方針・運用設計によりシームレスな連携を実現できるIT統合ソリューション「VANADIS」を展開していこ

マネジメント基盤と当社ノウハウを軸として、ビジネスシステムに必要な領域を統合的に提供する

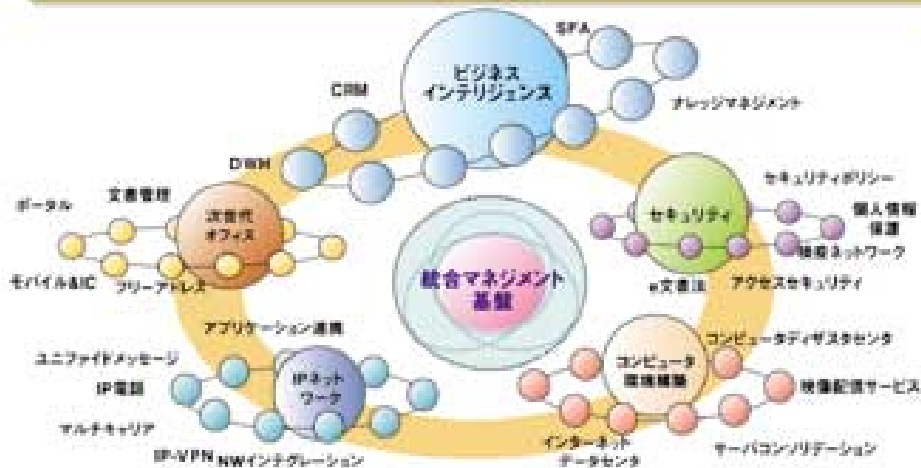


図1 IT統合ソリューション VANADIS全体像

うとしています。

システムを有機的に連携させる 共通の設計運用ポリシーと基盤

具体的な展開状況をお聞かせいただけますか？

田邊 VANADISでは、統合マネジメント基盤を核として、アプリケーションレイヤからネットワークレイヤ、ファシリティレイヤまでソリューション群の垂直統合を可能とし、お客様の情報インフラ環境を統合的に作り上げます。詳細な内容は次ページ以降に続く各論に譲りますが、すでにお客様への導入が始まっています。

この中で特筆すべきものの一つをご紹介しますと、VANADISオフィスソリューションの取り組みがあげられます。企業のオフィス活動に求められるあらゆる情報インフラに対し、VANADISの思想を取り入れることで、お客様が新たな発想で、新たな価値創造を行える次世代のオフィス環境を提案しようというものです。現在、ショールームを兼ねたオフィスを開設し、ニューワークスタイル実践を通じた商品開発を加速させています。

このほか、ビジネスインテリジェンス、高度なe文書管理、モバイル&ICメディア、ファシリティやアウトソーシングビジネス等、それぞれ独立しつつもVANADISの統一コンセプトを意識したソリューション開発に取り組んでいます。

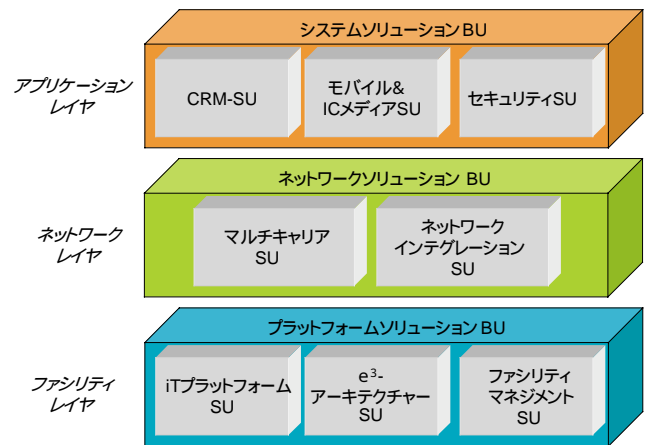
お客様に対しては、どのようなア

プローチで何を提供していくのでしょうか？

田邊 お客様へのアプローチは、上流工程のコンサルティング領域から入っていくことが重要だと考えています。早い段階からお客様ニーズを汲み取りつつ、VANADISのコンセプトに基づいた統一設計を行い、企業情報インフラの核となる様々なVANADISソリューション群のサービス提供を行います。また、情報インフラ全体のマネジメントスキームの設計を行い、さらには、アウトソーサとして運用サービスを提供することもできます。

VANADISソリューションを展開する組織体制についてご紹介ください。

田邊 ビジネスソリューション事業本部の前身であるビジネス開発事業本部時代から培ってきたソリューション群を軸に、アプリケーション、ネットワーク、ファシリティという3レイヤに対応する8つのサービスユニットから組織化されています。これらのソリューション群は、業種・業態を問わず共通して活用できるものですから、商品セグメント別の組織といえます。これらを個別にお客様へ提供することはもちろん、各組織が連携してVANADISコンセ



(ただし、BU=ビジネスユニット SU=サービスユニット)

図2 ビジネスソリューション事業本部の組織体制とソリューションレイヤ

プトに基づくIT統合ソリューションを幅広い顧客層に水平展開することを目指しています。

IT統合ソリューション VANADIS で、お客様企業の変革に貢献

最後に、今後のビジネス展開の抱負をお聞かせください。

田邊 私どもが提供するソリューションは、単にサービス機能を提供するだけのものではなく、お客様に何らかの変革を引き起こし、サプライズを感じていただけるものでないと意味がありません。VANADISをNTTデータのソリューションビジネスの統一ブランドと位置づけ、「Change On Net」をキーワードに、お客様企業のビジネススタイル、ワークスタイル自体の変革や、新しい価値創造をお手伝いしていきたいと考えています。

本日は有り難うございました。

(聞き手・構成 編集長 河西義人)